

3 生涯学習

～学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

<A 基本計画の目標>

地域における人と人との出会い、ふれあい、学び合いを推進し、地域団体や市民団体の活動を支援する中で、市民同士のつながりと支え合いを高めるための機会を設けるとともに連帯感やコミュニティ意識の醸成を図ります。

学習機会の提供にあたっては、個人の需要と社会の要請のバランスを保つとともに、生きがい・教養・人とのつながりなどの追求と職業的知識・技術の習得の調和を考慮します。

市民が主体的に学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進め、いつでも、どこでも、だれもが気軽に学習できる学習環境を整備・充実します。

多様で幅広い学習情報の収集・提供や学習相談体制の整備、学習コーディネーターなどの人材育成を行い、若者を含めあらゆる層の市民の生涯学習を総合的に支援していきます。

学習した成果が就業や社会参加など、さまざまな場面で発揮できるよう民間教育事業者や関係機関と連携を図りながら、職業能力の向上につながる学習機会の提供に努めます。

あらゆる場面において市民参画ができる機会・場の拡充と市民、行政、民間教育事業者や関係機関が一体となった効率的・効果的な推進体制を整備します。

<B 目標指標：市民意識調査による市民の満足度>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H20	H21	H22	H23	対前年度
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合	54.8 %	53.6 %	54.6 %	53.4 %	55.6 %	↗

<C 目標達成に向けた23年度の実績と自己評価>

※この分野の目標達成のために取組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント)

自己評価	
<p>【教育部】</p> <p>市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」に生涯学習推進事業を委託することにより、様々な世代を対象とした市民ニーズに即した各種講座・イベントを企画・実施することができました。また、生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行するとともに、ホームページ上にも掲載することで、市の主催事業のみならず、様々な団体による講座・イベントなどの情報を広く周知することができました。また、生涯学習センターの利用者も対前年比約6万3千人増加させることができました。</p>	◎
<p>平成23年は図書館開館百周年にあたるため、公募委員による実行委員会を中心に百周年記念図書の出版や記念行事を行いました。鎌倉図書館百年史を編集する過程で、鎌倉の図書館が市民とともに歩んできた歴史について明らかになり、それを市民にアピールできました。</p> <p>学校との連携も「学習パック」「子ども読書パック」の事業の中での活用が進むなど成果が得られました。</p>	◎

前年度当初目標に対し、◎＝80%以上○＝50%以上△＝30%以上×＝30%未満

<D 前回の市民評価委員会などからの指摘への対応状況>

市民評価委員会などからの指摘

指摘等に対する改善策・対応など

【教育部】

<p>講座受講者が、そこで得た知識や技術がきちんと評価され、地域活動等に活かしていくようなしくみがあるとよいのではないか。</p>	⇒	<p>講座参加者への効果として、参加者がさらに専門的な知識・技術を習得するきっかけ作りになると考えています。市では、専門的な知識・技術を持つ方を生涯学習指導者として登録し、冊子やインターネットで市民に紹介しています。</p>
<p>利用者からの多様な継続的需要に対応した講座、図書等の内容の見直し充実等、高い生涯学習ニーズに対応し、学ぶための場を整備していく必要があるが、施設が不足している。</p>		<p>生涯学習センターは、鎌倉と各地域に計5館あるが、いずれも利用率が高く、部屋が取りにくいとのご意見も頂戴しています。今後とも、全庁的な施設配置計画の中で、生涯学習施設として利用可能な施設を検討していきます。</p>
<p>市民講座について、イベントや講座の開催の際には、必ずアンケート調査を行い、常に広く市民の意見を聴取しているようであるが、これは参加している方々からの意見であり、まだ参加したことのない方々に参加していただくための情報収集とはならないため、講座やイベント以外での情報収集の仕組みを検討して欲しい。</p>		<p>講座・イベント終了時にアンケート調査を行い、参加した方に、良かった点、悪かった点などのご意見をいただき、次回開催時の参考にしていきます。ご参加いただいていない方のご意見を収集することに関しては、今後の検討課題とします。</p>

<E 23年度未達成事業の課題・問題点など>

【教育部】

<p>市では、豊かな生涯学習社会の創造を目指して、生涯学習プランを策定し生涯学習の推進に努めていますが、社会情勢の変化に伴う様々な施策課題や要請に応えるため、平成23年4月に鎌倉市生涯学習プランを改訂しました。生涯学習プランの改訂から1年が経過し、当該プランの進行管理を行っていくこととなります。</p>
<p>※未達成の理由<支障となった理由></p>

<F 今後の展開(取組方針)>

【教育部】

<p>生涯学習プランの進行管理に関しては、プラン策定に関わった生涯学習推進協議会からご意見を頂戴しており、生涯学習センターとして進行管理の具体的な手法を検討するとともに、平成24年度から実施します。</p>

<G 実績指標：事業ごとの進捗を示す代表的な指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H20	H21	H22	H23	H22年度 目標値	H27年度 目標値
生涯学習センター利用者数(+)	中央、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域にある生涯学習センターの、年間利用者数の合計	544,960 人	577,722 人	619,084 人	581,424 人	644,560 人	551,000 人	556,000 人
図書館資料の年間貸出数(+)	中央図書館及び地域館の図書館資料の年間貸出数の合計	1,241,035 冊	1,308,086 冊	1,523,736 冊	1,593,449 冊	1,560,420 冊	1,303,000 冊	1,363,000 冊
図書館の利用度(+)	ここ1年間で図書館を利用した市民の割合	42.8 %	43.0 %	40.8 %	41.0 %	38.3 %	45 %	48 %

<H 事業コスト総額>

分野別事業費		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	決算値 (A)	472,284千円	468,275千円	398,586千円	393,716千円				
	(国・県)	3,068千円	9,943千円	508千円	14,651千円				
	(負担金等)	78,047千円	74,823千円	66,480千円	71,347千円				
	(一般財源)	391,169千円	383,509千円	331,598千円	307,718千円				
	人員配置数	38.6人	36.6人	36.8人	34.8人				
	人件費 (B)	347,774千円	329,371千円	320,554千円	300,540千円				
	総事業費(A+B)	820,058千円	797,646千円	719,140千円	694,256千円				
	対前年比		97.3%	90.2%	96.5%				

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・鎌倉市生涯学習運営推進委員会への委託等民間主導化が進んでいる。
- ・「鎌倉市生涯学習推進委員会」に生涯学習推進事業を委託した。
- ・生涯学習センターの利用者も対前年比約6万3千人増加させることができた。
- ・図書館をはじめとした鎌倉市民の文化的体験の場の充実への努力が目に見える。
- ・図書館が身近にあり、蔵書も充実している。
- ・図書館開館100周年の記念行事。
- ・市内生涯学習講座、イベントは内容が充実している。
- ・鎌倉市生涯学習運営推進委員会の活動に期待するところ大である。
- ・市民ボランティアとの連携により、市民のニーズを把握する等、市民が望んでいるサービスに即した事業を実施している。



課題・提言

- ・子ども、若者、老人が共に過ごせる時間と空間を作り出して頂きたい。
- ・基本計画の目標の一つである「連帯感やコミュニティ意識の醸成」についての活動についても、もう少し検討すべきである。
- ・歴史・文化を管轄する経営企画部と生涯学習を管轄する教育部の密接な連携が必要である。
- ・生涯学習センターは、鎌倉と各地域に計5館あるが、いずれも利用率が高く、部屋が取りにくい等の課題がある。
- ・生涯学習センター利用者が大幅に増加しており、その要因の把握が必要である。
- ・改訂された生涯学習プランが効果的に実践されることを望む。
- ・若い世代へのイベントなど、新規開拓に期待する。
- ・団塊世代の退職者が大量に見込まれるが、本事業への協働・参画は考えられるか検討すべきである。

この分野のめざすべきまちの姿に向けた平成23年度の取組は、良好であった。